

教科目名	統計学 II	担当教員名	小林久寿雄
対象学科 学年	4 学年 全学科		
学期 必選 単位	前期 選択・1単位		
授業の形態	講義		
<p>学習目標 (授業のねらい)</p> <p>統計における分布の意味、標本分布、積率母関数の意味と理論が理解でき、その計算ができる。特に分散分析の理論とその内容が理解できることを目的とする。実際のデータに関して表計算ソフト SPSS 等を用いての分散分析は各自ができることを目指す。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第 1 回 統計数学入門</p> <p>第 2 回 離散型確率分布</p> <p>第 3 回 連続型確率分布</p> <p>第 4 回 積率母関数</p> <p>第 5 回 積率母関数の計算</p> <p>第 6 回 母集団と標本分布</p> <p>第 7 回 推定と検定</p> <p>第 8 回 中間テスト</p> <p>第 9 回 中間テストの解答</p> <p>第 10 回 分散分析入門</p> <p>第 11 回 一元配置分散分析 1</p> <p>第 12 回 一元配置分散分析 2</p> <p>第 13 回 一元配置分散分析 3</p> <p>第 14 回 二元配置分散分析 1</p> <p>第 15 回 二元配置分散分析 2</p> <p>第 16 回 期末テスト</p> <p>第 17 回 期末テストの解答、アンケート</p> <p>第 18 回</p> <p>第 19 回</p> <p>第 20 回</p> <p>第 21 回</p> <p>第 22 回</p> <p>第 23 回</p> <p>第 24 回</p> <p>第 25 回</p> <p>第 26 回</p> <p>第 27 回</p> <p>第 28 回</p> <p>第 29 回</p> <p>第 30 回</p> <p>第 31 回</p> <p>第 32 回</p> <p>第 33 回</p> <p>第 34 回</p>	<p>内容</p> <p>統計的考え方と統計理論の必要性</p> <p>一様分布、超幾何分布、2項分布、ポアソン分布</p> <p>一様分布、ガンマ分布、コーシー分布、正規分布</p> <p>積率母関数の定義と性質</p> <p>各種分布の積率母関数と各種統計量</p> <p>標本分布の理論とその意味</p> <p>推定と検定の理論とその意味</p> <p>検定と分散分析と関連する分布</p> <p>一元配置分散分析に関連した区間推定</p> <p>一元配置分散分析の理論的説明</p> <p>一元配置分散分析の計算</p> <p>繰り返し無し二元配置分散分析</p> <p>繰り返しありの二元配置分散分析</p>		
【学習 教育目標】			
【関連科目】	統計学 I		
教科書 教材 および参考書】	押川元重・坂口紘治著 基礎統計学 倍風館		
【履修上の注意】	教科書「基礎統計学」に基づいた講義を行うが、各自で、表計算ソフトや統計ソフト SPSS 等を用いて統計計算に習熟できるように学習すること。		
【科目の達成目標】	【評価方法と基準】		
	レポート20,小テスト20,期末テスト60程度で評価する		
確率分布について理解できる	理解度をレポートで評価する 理解度を小テストで評価する 理解度を期末テストで評価する		
積率母関数が理解できる	理解度をレポートで評価する 理解度を小テストで評価する 理解度を期末テストで評価する		
分散分析が理解できる	理解度をレポートで評価する 理解度を小テストで評価する 理解度を期末テストで評価する		